

中期経営計画（平成 29 年度～平成 31 年度）

はじめに

当社は平成 26～28 年度の中期経営計画の中で、市場再編・機能強化への対応として、本場は市場専用冷蔵庫、南部は本場を補完する一般冷蔵庫への転換を行ってまいりました。平成 29～31 年度の計画では新市場の活性化に向けて、当社の経営目標である「環境の変化に対応した事業運営」「経営の自主自立的な運営」「経営課題に迅速に対応できる人材の育成」を基に横浜市中央卸売市場の低温物流の担い手としての役割を推進し、横浜市民の安心・安全で豊かな食生活を支え社会の発展に貢献して行く考えであります。

1 経営課題

当中期経営計画で対処すべき経営課題は以下の 5 項目を設定いたしました。

- ・ 青果貨物・場外貨物の取込み
- ・ 社有施設の老朽化対策と定期修繕計画及び地球温暖化・省エネルギー対策
- ・ 市有施設の老朽化対策及び地球温暖化・省エネルギー対策
- ・ 人材の確保及び育成
- ・ 自主自立経営に向けた安定株主の確保

2 業績目標

単位：百万円

	28 年度見込	29 年度	30 年度	31 年度
売上高	1,087	1,120	1,125	1,130
営業利益	71.4	47.0	47.3	47.5
営業利益率(%)	6.6	4.2	4.2	4.2

平成 28 年度は委託費や人件費の削減と光熱水費の減少により営業利益率 6.6%の見込みですが、平成 29 年度からは定期修繕、老朽化対策等により営業利益率は 4.2%程度になる見込みです。

3 経営戦略

- ・ 青果貨物・場外貨物の取込み
青果貨物の安定入庫と設備投資を含めた新規顧客の獲得を目指します。
- ・ 社有施設の老朽化対策と定期修繕計画及び地球温暖化・省エネルギー対策
冷蔵庫施設の長寿命化のための整備と定期的な修繕、環境に適した冷凍機への更新を行っていきます。
- ・ 市有施設の老朽化対策及び地球温暖化・省エネルギー対策
市と老朽化施設の修繕計画と環境に適した冷凍機への更新計画の合意を行っていきます。
- ・ 人材の確保及び育成
定年退職者の活用と幅広い人材の採用、社員の現状からの意識改革と人材資源活用のための社内制度整備拡充を行っていきます。
- ・ 自主自立経営に向けた安定株主の確保
横浜市と民営化に向け安定株主確保のための協議を行っていきます。

4 事業別売上目標

単位：百万円

	28 年度見込	29 年度	30 年度	31 年度
冷蔵事業	856	886	887	888
凍氷事業	35	34	33	32
その他事業	196	200	205	210